

【報道関係者各位・プレスリリース】

シューレ大学「不登校研究会」 不登校経験で受ける”苦しさ”の 調査を実施しています（6月下旬まで）

ウェブ上で回答を募集・報告予定
http://shureuniv.org/futoukou_survey

かつてのように「不登校」を理由に無理やり学校に連れて行かれることは減ってきました。

また、様々な理由で学校に行くことがくるしい子どもたちに、
「学校に行かなくてもいい」ということの認知も広がってきたように思います。

しかし、不登校経験者からは「不登校は、やはりいけないこと」
「周りに迷惑をかけている」など、苦しさを訴える声は無くなっていません。
そして、不登校の苦しさが理解されにくい状況にあることも確かです。

いまも存在する「不登校を経験することの苦しさ・しんどさ」について、
経験者からの声を集め、「不登校の苦しさ」を丁寧に集め、明らかにするとともに、
教育関係者や社会の理解促進を図るため、この度、アンケート調査を実施します。

不登校を経験したことのある方に、是非ご協力いただきたく、現在呼びかけを行っています。

報道関係者の皆様、この企画に関心を寄せていただきたく、
回答者募集のご協力を呼び掛ける次第です。何卒、どうぞよろしくお願い申し上げます。

■調査募集の概要【不登校をすることでの苦しみの調査】■

調査期間：2019年5月25日～6月21日まで、ウェブ上で投稿を募集

http://shureuniv.org/futoukou_survey

調査回答数目標：約500件（人）

調査対象者：不登校を経験したことのある人

質問内容：基本属性／「欠落感」を感じたことはあるか／人への怖さ／
コミュニケーションのしづらさ／否定的な感覚／
つらい時の自分の状態／など

■実施：シューレ大学内「不登校研究会」（NPO法人東京シューレ）

■お問い合わせ：シューレ大学（事務局・担当朝倉） 03-5155-9801
<http://shureuniv.org> 東京都新宿区若松町28-27

調査結果の公表や生かし方、「不登校研究会」については、次ページへ。

■ 調査結果の公表（予定）：

① シューレ大学 20 周年記念イベントにて発表

開催日時：2019年6月22日（詳細下記）

② 教育社会学に関連する学会での発表

③ シューレ大学のウェブ上等で公表

* そのほか、シューレ大学関係者が行う講演会やイベント等で発表

■ 「不登校研究会」とは？

1999年の「開学」以降、続いているシューレ大学内での研究会。主に不登校の歴史をはじめ、不登校と医療、日本と海外のフリースクールの状況や教育問題など、不登校に関係する様々な課題について、調査研究や現地視察も行いつつ、当事者の視点・立場から研究を続けている。参加者はシューレ大学の学生とOB、スタッフ。

■ 「シューレ大学」とは？

1985年開設したフリースクール・東京シューレ（NPO法人）の新たな部門として、1999年4月にオープンした民間の大学。引きこもり・不登校・大学中退…生きづらさなどについての経験をもとに、まず「自分であること」から始まり考えを深めあう場。人や社会とどうつながって生きていくのかをとことん模索できる、国際的にも注目の集まる、NPOの「オルタナティブ大学」です。

自分から始まる
生き方を創る 2019 6.22 13:30 開演
シューレ大学 20 周年記念イベント

不登校・ひきこもりからの自己否定感に打ちのめされたくない！

「本当の自分」にしまられない？

講師
平野 啓一郎
(小説家)

【ご案内】シューレ大学は今年で20周年！ 平野啓一郎さんをお呼びし記念イベントを開催します。

■ 日時：2019年6月22日（土） 13：00開場 13：30開演

■ 会場：池袋ISP タマビル8F（ワーカーズコープ連合会イベントホール）

■ 参加費：一般 1500円（記念資料付き） 18歳以下 800円

■ ゲスト講師：平野啓一郎さん（小説家）

■ 内容 ・芥川賞作家・平野啓一郎さんの講演

・シューレ大学20年の活動を紹介するプレゼンテーション

・シンポジウム（東アジアのシンポジストを含む） ほか

■ 主催：NPO法人東京シューレ シューレ大学

■ お問合せ・お申し込み：シューレ大学 TEL: 03-5155-9801 FAX: 03-5155-9802

E-mail: univ@shure.or.jp http://shureuniv.org